



有年小だより

【校訓】ほがらか はつらつ すこやか

赤穂市立有年小学校

第17号

平成29年7月19日

発行者 江尻 裕亮

# こまどり



## 「命を守る学習 ～着衣泳教室～」を行いました

7月12日、今年で3年目となる「命を守る学習～着衣泳教室～」を行いました。講師は、水難学会事務局長で赤穂市消防本部にお勤めの木村さんをはじめ、水難学会の安室さん、小川さんの3名の方々です。

本校では、学校規模のよさを生かし、全校児童がこの大切な学習に毎年参加しています。2年生以上の子ども達は昨年までに学習した「浮いて待て」という合言葉をしっかり覚えていました。着衣のまま水に落ちた時には無理に泳ごうとせず、浮いて助けを待つことが大切であること、身近なペットボトルやランドセルが役に立つこと、釣り竿も人命救助に役立つことなど、命を守るために大切なことを今年もしっかりと学びました。子ども達が誰一人として水の事故にあいませぬようにと心から願います。



浮いて待て！



ペットボトルをおなかに抱えて



ランドセルも役に立つよ

## 児童会主催の水上運動会を行いました

7月13日の昼休み、学期末の「学習のまとめ」に全力投球する合間を縫って、児童会主催の水上運動会が行われ、6年生のすばらしいリードのもと大いに盛り上がりました。競技の楽しさと応援の楽しさが一つになり、プールは歓声の渦です。幼い時から一緒に育つ有年っ子きょうだいの一体感を感じます。

行事が形式化・マンネリ化しないよう、常に工夫改善していこうとする姿勢も本当にすばらしいです。

どの子ども笑顔がいっぱい輝いた児童会活動でした。立派な6年生、ありがとう！



赤がんぼれ～、白がんぼれ～



早く早く！パス！パス！



伝統種目「どんぶらっこ」

水上運動会の翌日、4年生が学級会で計画した「お化け屋敷」に全校を招待してくれました。「怖い！怖い！」と、低学年から高学年まで大喜びです。

どの学年も教科の学習を第一に大切にしながら、それと一体となる特別活動を通して自主性や実践力が伸びつつあります。このような姿が6年生から下級生にも広がっていることをうれしく思います。4月に比べ、下級生の挨拶の声も大きくなっています。